学校番号	T0110

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	最新高等保健体育　改訂版　（大修館出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・日常生活で直面するであろう身近な健康問題を知り、その解決方法を考えよう。
・健康や安全についての社会的な取り組みや個人での対応の仕方について理解しよう。

2　学習の到達目標

・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
・飲酒・喫煙・薬物乱用など日常生活に密接に関わりのある健康問題を知り、その解決方法を考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人で行える対応と関連づけて実践できるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するために必要である、適切な知識・判断・行動に関して、主体的に学び、学習しようとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活・社会生活における課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活・社会生活における課題について、適切に管理したり環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート	定期考査 ノート レポート	定期考査 ノート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 1、健康については、さまざまな考え方がある 2、健康はさまざまな要因から成り立っている	○		○	a:健康とは何か、どのような要因があるのか、健康を保持増進するための方法とはどのようなものがあるか、など健康について主体的に考え、学習に意欲を持って取り組もうとしている。 b: 健康とは何か、どのような要因があるのか、健康を保持増進するための方法とはどのようなものがあるか、など健康に対して適切な情報を取捨選択することができたり、行動選択ができる。 c: 健康とは何か、どのような要因があるのか、健康を保持増進するための方法とはどのようなものがあるか、など健康について自分の意見を述べたり、書き出したりしている	受講態度の観察 ノート レポート 定期考査
		私たちの健康のすがた 1、わが国の健康水準は向上を続けてきた 2、健康問題は時代とともに変化する	○	○	○		
		健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり 1、適切な意志決定・行動選択が重要である 2、適切な意志決定・行動選択をするために 3、健康にかかわる環境づくりが重要である	○	○			
		生活習慣病とその予防 1、生活習慣と関連の深い病気を生活習慣病という 2、生活習慣病を予防しよう	○	○	○		
		食事と健康 1、食事は健康の基礎である 2、健康的な食事を取ろう	○	○			
		運動・休養と健康 1、適度な運動が健康をつくる 2、休養が疲労を回復し、活力をよみがえらせる		○	○		
		喫煙と健康 1、喫煙は、健康に大きな影響をもたらす 2、喫煙を始めるとなかなかやめられなくなる 3、たばこ対策は全世界で進められている	○	○	○		

前期	現代社会と健康	飲酒と健康 1、アルコールは、脳や体に影響を及ぼす 2、長期間の過度の飲酒は、多くの問題を引き起こす 3、さまざまな飲酒対策がおこなわれている	○	○	○		
		薬物乱用と健康 1、「1回だけ」でも薬物は人生を台なしにする 2、自分の周囲や社会にも薬物は悪影響を与える 3、薬物には多面的な対策が必要である	○	○	○		
後期		感染症とその予防 1、病原体が原因の病気を感染症という 2、問題となる感染症は変化してきている 3、感染症の予防は、社会と個人で取り組む		○	○	a：自分を含め、社会全体の健康について関心を持ち、主体的に考え、学習に意欲をもって取り組もうとしている。 b：自分自身と社会全体の心身の健康について考え、適切な判断や行動選択ができる。 c：自分自身や社会全体の健康問題について理解し、自分の意見を述べたり、書き出したりしている	受講態度の観察 ノート レポート 定期考査
		性感染症・エイズとその予防 1、性感染症・エイズが若者の間で問題となっている 2、性感染症・エイズは予防できる		○	○		
		欲求と適応機制 1、欲求は成長とともに多様化する 2、欲求不満や葛藤をやわらげる心の働きがある	○		○		
		心身の相関とストレス 1、心と体は、一体となって働いている 2、ストレスは心と体に影響を及ぼす		○	○		
		心の健康のために 1、ストレスには、さまざまな対処方法がある 2、自己実現は、心の健康につながる	○		○		

後期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因 1、運転者には、資質と責任が必要である 2、安全な交通社会づくりが進められている	○	○	○		
		交通事故を防ぐために 1、運転者には、資質と責任が必要である 2、安全な交通社会づくりが進められている	○	○	○		
		応急手当の意義とその基本 1、適切な応急処置は命を救い、痛みをやわらげる 2、応急手当の最初のポイントは確認と観察である	○		○		
		日常的な応急手当がある 1、けがに応じた応急手当がある 2、熱中症には適切な手当てが大切である	○		○		
		心肺蘇生法の原理とおこない方 1、心肺蘇生法は原理にもとづいている 2、心肺蘇生法には適切な手順がある		○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。